

経営比較分析表（平成29年度決算）

広島県 三原市

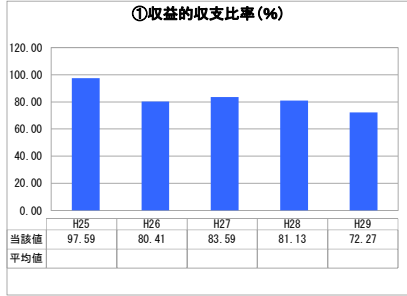
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.87	89.22	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
95,687	471.55	202.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
830	0.07	11,857.14

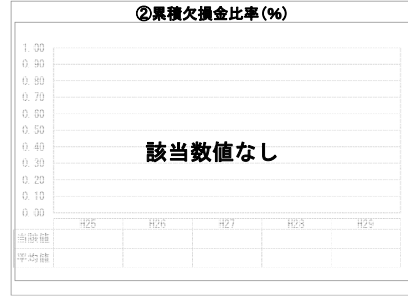
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



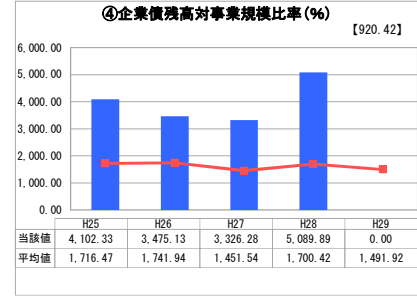
「単年度の収支」



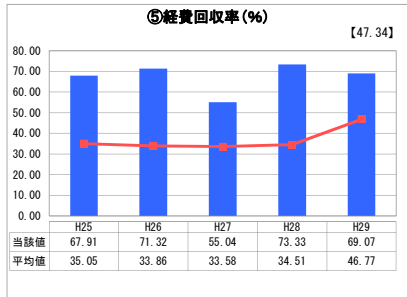
「累積欠損」



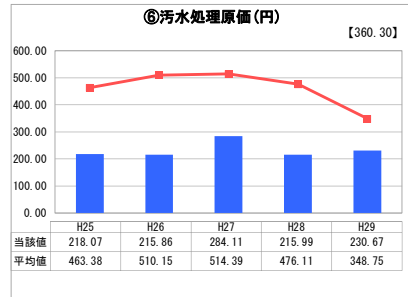
「支払能力」



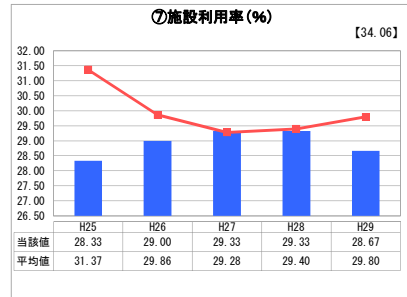
「債務残高」



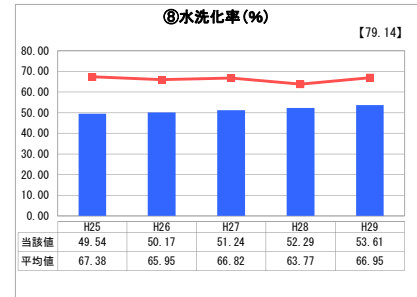
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

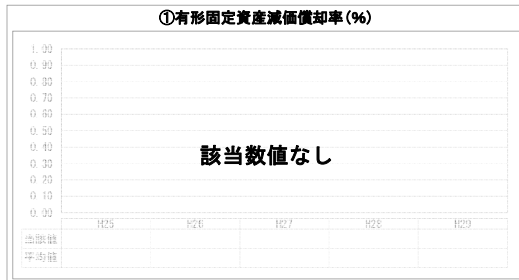


「施設の効率性」

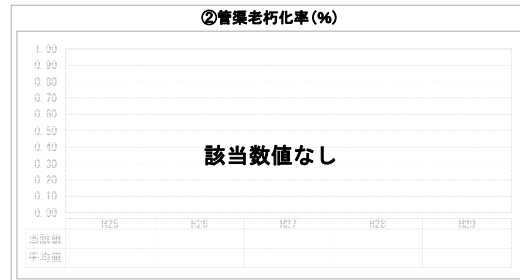


「使用料対象の捕捉」

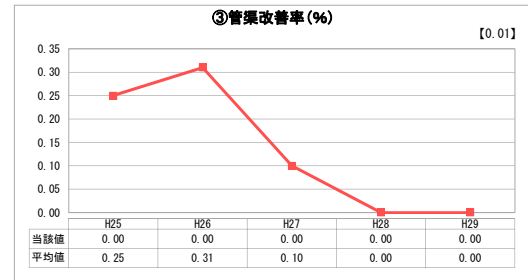
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○収益的収支比率
収益的収支比率が100%を下回っています。これは地方債の償還に伴うものです。償還は平成54年度まで継続するため、その間は比率100%にすることは困難と推測されますが、より一層の経費の削減と稼働率の向上を目指します。

○企業債残高対事業規模比率の減少
分流式下水道に要する経費の繰出基準を市として見直し、地方債元金に係る償還額は、全て一般会計からの繰入によるものとしたためです。

○経費回収率
類似団体と比較して高く、ほぼ同程度で推移しています。これは、供用開始以降大規模な修繕・更新が発生しておらず、また、維持管理費の抑制に努めてきたことによるものです。今後、機能保全計画を策定し、計画的な維持管理・更新を図っていきます。

○汚水処理原価
類似団体と比較して低く、ほぼ同じ値で推移しています。これは、供用開始以降大規模な修繕・更新が発生しておらず、また、維持管理費の抑制に努めてきたことによるものです。今後、機能保全計画を策定し、計画的な維持管理・更新を図っていきます。

○施設利用率・水洗化率
類似団体と比較すると低い状況にあります。供用区域内の人口が減少傾向にあり、数値は、ほぼ横ばいとなっています。今後、水洗化率のさらなる向上に向け、普及活動を促進する必要があります。

2. 老朽化の状況について

現時点においては、供用開始後の期間が短いため、老朽化調査を行っていません。

【今後】
今後は、経年劣化による機能低下や破損等が見込まれるため、施設の機能診断の実施及び機能保全計画を策定し、計画的な修繕・更新を行なってまいります。

全体総括

人口減少等による使用料収入の減少が見込まれる一方、処理施設及び管渠の老朽化による維持管理費の増加が想定され、今後経営状況は厳しくなるものと想定されます。そのような中で、アセットマネジメントの実施等により効率的な事業運営を行うことで、経営の安定化を図る必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。